

第1回在宅歯科衛生士養成研修会

周術期等口腔機能管理における地域連携 ～シームレスな連携の推進に向けて～



島根大学医学部歯科口腔外科学講座 講師(医局長)
松田 悠平 先生



略歴

2012年 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科卒業
2014年 東京医科歯科大学大学院修了 修士(口腔保健学)
2014年 NTT東日本関東病院歯科口腔外科
2015年 九州歯科大学助教
2018年 東京医科歯科大学大学院修了 博士(歯学)
2018年 島根大学医学部附属病院歯科口腔外科助教・医局長
2022年 東京医科歯科大学大学院講師
2023年 広島大学大学院MPHコース修了 修士: Master of Public Health(MPH)
2023年 島根大学医学部附属病院歯科口腔外科講師・医局長
口腔ケアセンター 副センター長

日時	令和7年7月13日(日)10:00～12:00(質疑応答を含む)	
方法	[会場]	四日市歯科医師会館 3階 大会議室 (三重県四日市市本町9番12号) ※駐車場はありませんので近隣のコインパーキングもしくは 公共交通機関をご利用ください。
	[WEB]	ZOOMミーティング
対象	歯科医師、歯科衛生士等	
参加費	無料	
申込み	下記URLまたは二次元コードからお申込みください https://forms.gle/csmqyBonC8NyYbwQ8	
申込締切	7月3日(火) 定員になり次第締め切りとさせていただきます。	



(抄録)

2012年の保険収載以来、周術期等口腔機能管理はがん治療をはじめとする全身疾患患者への支持療法として広く普及し、2024年の診療報酬改定では適応範囲がさらに拡大した。兼ねてから、この周術期等口腔機能管理は、地域歯科医師会や歯科診療所との連携が推奨されており、がん患者が治療後にかかりつけ歯科医へシームレスに移行し、継続的な口腔管理を受けられる体制が整いつつある。特に地方都市では、高齢患者が都市部での治療を終えた後でも継続的に口腔管理を受けられることが重要であり、病診連携の強化が一層求められる。また、近年では周術期等口腔機能管理を一時的な医療介入としてだけでなく、幼少期から老年期に至るまでのライフステージに応じた口腔健康管理の一環として捉える動きもみられる。そこで本講演では、周術期等口腔機能管理の歴史の変遷を俯瞰し、シームレスな連携の推進に向けた課題と可能性について解説する。

[お問合せ先]特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会事務局

TEL: 059-223-0815/ メール: mie-dh@infoseek.jp

※悪天候等により、やむなく中止となる場合は、前日の16時までに三重県歯科衛生士会ホームページに掲載いたします。